

日韓民衆は連帯して韓米連合軍事演習を阻止しよう!

「韓米合同軍事演習反対 3.18 緊急行動実行委員会」に所属する仲間のみなさんの米大使館前集会を熱烈に歓迎し、感謝と連帯のあいさつを申し上げます。

歴史的な第3次南北首脳会談、および、史上初の朝米首脳会談の合意で、朝鮮半島情勢が大転換のとば口に立っています。二つの首脳会談が成果を上げることができれば、朝鮮半島の非核化と平和協定、朝米国交正常化が実現されるのであり、これを礎に統一の前途が大きく切り拓かれるでしょう。

ところが、こうした状況においても韓米当局は、韓米連合軍事演習が例年の通常防衛演習だとして、これを強行しようとしています。しかし、この主張は事実では全くありません。韓米連合軍事演習の指針となる作戦計画 5015 は「韓米状況適応型抑制戦略」に基づいています。状況適応型抑制戦略は、北が核ミサイル発射の兆候を見ただけで先制打撃するという極めて攻撃的な戦略です。韓米当局は、この戦略を実行するために、先制攻撃概念である「4D 作戦概念(探知→かく乱→破壊→防衛)」の実行力を高めており、韓国政府は先制攻撃兵器体系である「キルチェーン(Kill Chain)」の構築を急いでいます。

韓米連合軍事演習はこのように、防衛演習ではなく明らかな先制攻撃演習です。従って、この演習は、武力攻撃を禁止した国連憲章、韓米相互防衛条約、停戦協定、韓国憲法に違反しています。朝鮮民主主義人民共和国(以下「共和国」)の金正恩国務委員長が韓米連合軍事演習について理解すると述べたとしても、この演習を決して正当化できないのは以上の理由からです。

従って、対話が続く間は核兵器の実験とミサイルの試験発射を中断するという共和国の措置に相応じて、韓米当局も韓米連合軍事演習を中断すべきです。韓米連合軍事演習は、米国による共和国への敵対政策の最も具体的かつ直接的な表現であり、共和国に対する実質的な威嚇になるからです。

他方で、ジョン・ホソブ前海軍参謀総長は2015年9月、「北に対する抑制という次元で(韓米の)『キーリゾルブ』訓練に日本も参加して連合訓練を行うことが必要」と述べています。今年2月に訪韓したジェームズ・インホフ米上院議員の選任補佐官は、「日本も適切な時期に(韓米)訓練に参加すべきという点を明らかにした」と言いました。日本の自衛隊まで引き込み共和国を制圧しようとする企みが具体化されているのです。これは、日米韓が三角軍事同盟へと進んでいく具体的な兆候です。こうした企みは、朝鮮半島と北東アジアの情勢を激化させ、軍備競争を招き、最悪の場合は日韓民衆を死へ追いやることになるでしょう。

だからこそ、心から平和を希求する日韓民衆が力を合わせ、戦争を招く韓米連合軍事演習と、北東アジアにおいて陣営間の対決をもたらす日米韓三角軍事同盟とを阻止し、朝鮮半島と日本の平和、さらには北東アジアの平和を守ることを、私たちは期待します。強く連帯し、力一杯闘いましょう。

ありがとうございます。

2018年3月18日
平和と統一を開く人々